



IGグループ

平成26年度 新春セミナー

『卓越性の追求

~未来を語る人材になろう!』

平成26年2月7日(金)
IGグループ
代表 岩永經世

1



今年は午年!

~飛躍の年...

新年おめでとうございます!
今年もどうぞ
よろしく願い申し上げます。

(平成26年吉日)

2



序～メガトレンド

(近未来を決める4つの構造変化)

1. 個人の力の増大
2. 権力の拡散
3. 人口構成の変化
4. 食料・水・エネルギー問題の連鎖

出典:「2030年世界はこう変わる」(講談社)

3



本セミナーの主旨

一流と呼ばれる人の原点は、
“卓越性”を追い求める姿勢にある。

そこから充実と自信と、そして仕事に対する誇りが生まれる。“卓越性”の追求は、仕事の質を変えるだけでなく、人間そのものを変えるがゆえに、重大な意味を持つ。

「どうすれば一流になれるのか？」じっくりと考え、行動する一年にしたい…。そして、未来を語ろう！

4



卓越性とは何か？

「自らの成長のために最も優先すべきは、卓越性の追求である。そこから充実と自信が生まれる…」
(P. F. ドラッカー)

自らの成長の源泉…。そして、自らの成長に責任を負うのは自分自身である。

5



自らに高い要求を！ 仕事を心踊るものにする

「日常化して毎日が心地よくなったときこそ、新たなことへチャレンジする旬である」と考えよう。
快適ゾーンから“チャレンジゾーン”へ…。

イチロー選手の
決断の背景にあったもの…

6



アンドリュー・カーネギーの言葉

～あなたはどの受け止めますか？

普通の人、自分の仕事に対してもっているエネルギーや能力の**25%程度**しか注いでいない。

自分の能力の**50%以上**投入する人に対して、世界は脱帽する。

そして、**100%**を注ぎ込む人、そのまれにない人物に対して世界は逆立ちして拝めるのである。

今は何%？

7



「何によって憶えられたいか？」

「運のよい人は、この問いを人生の早い時期に問いかけてもらい、一生を通じて自らに問い続けていくことができる」

自己革新(原因)を促す問い・・・

そして、持続的な成長(結果)をする

8



「原因と結果の法則」 ～そして、“自由意志”

あなたがどう思うかは関係ない。結果は、自然の法則によって支配される。

しかし、あなたは望む結果の原因を自分の意志で選択することはできる。

原因があって、結果がある！
ゆえに、重要なことは、結果ではなく原因に対して決意しなければならない…。

9



すべては選択の結果！

「運命は偶然ではない。選択だ。
待ち望むのではなく、自分で進んでつくっていくものである」

人生は自己責任！

それを認めて、初めて違う人生を選択することができる。

(選択の3つの罟)

1. 惰性(習慣) 2. 権威(依存症) 3. 文化(常識)

10



なぜ今、卓越性なのか？

パラダイムシフトの時代…！

「激しく成長していなければ、
激しく落ち込む時代である」(中西輝政教授)

現状維持はあり得ない！停滞は、衰退の第一歩
である。

落ち込んでからでは、もう遅い！

自己革新こそ、持続的成長のカギ…。

11



未来創造

～卓越性の追求で最高の自分を引き出そう！


「未来を予測しようとするとはまる」

(P・F・ドラッカー)

自らの意志で未来を創造できるように、徹底して
卓越性を追及しよう！

課題と責任、そして実践！

12



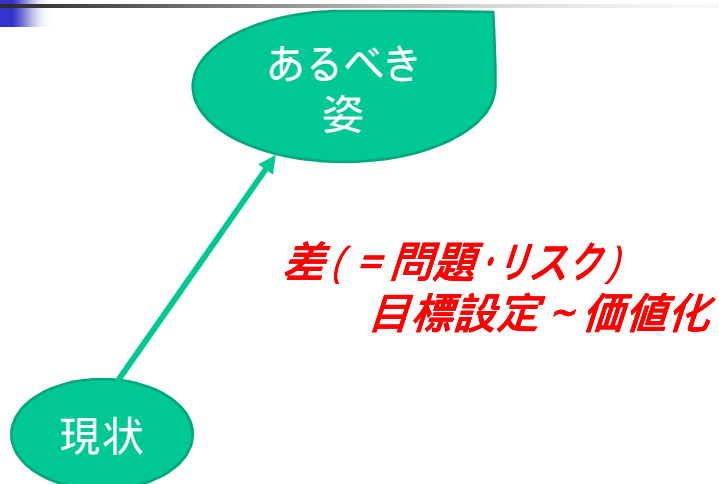
未来をつくる二つの方法

1. **すでに起こった未来を発見し、活用する**
構造的な変化 (= 不連続性)
2. **自ら未来を発生させる**
ビジョンの実現 (= イノベーション)

13



差を認識し、差を埋めること！



14



プロセス、どの手段で？

目標は、現実的であるかどうかは、どうでもいい。
それを達成するための手段が、現実的であるかが、
肝心だ！

Step 1. 目標を打ち出す

何ができるかではなくて、何をしたいのか、どうなり
たいのかを書き込む。書き込み、宣言することが肝心
だ。

15



Step 2. なぜしたいのかを考える

Step 3. 達成の方法をリストアップする

できている人がいるから、その人たちがどのよう
にしたかリストアップしてみる。

Step 4. 最も現実的な方法を選択する

Step 5. 実行する

16

卓越性、その手法は・・・

～いかに成果をあげ、成長するか？

卓越性の追求は、自らの成長の源泉である。
そして、成長とは自らの仕事の成果に対して
責任を負うという覚悟である。

成果を出すことに焦点を！

17

卓越性の追求

仕事の成果をいかに引き出せるか！

成果をあげるための
実践的な“5つの方法”

1. **時間**を体系的に管理する
2. **貢献**に焦点を合わせる
3. **強み**を中心に据える
4. **優先順位**を決定する
5. **意思決定**を行う

18



時間管理

時間が最大の制約条件…浪費しない！

(時間管理の4つのルール)

1. 時間は何に使われているか(記録を残す)
2. 浪費の原因を整理する
3. 非生産的なものを捨てる
4. 時間を大きくまとめる

他人の時間も活用しよう(部下の育成、外注など)

19



時間は今の半分でできる！

～時間はかかると思うから、かかるのだ

パーキンソンの法則…

「仕事の量は、完成のために与えられた時間をすべて満たすまで膨張する」

もっと多くのことを成し遂げようと思えば、
より少ない時間を割り当てることだ。

20



ブロッキングの奇跡

～時間をまとめよう！

予定をまとめれば、
自由に使える時間が増える。

何も予定が入っていない1ヶ月間をつくり出すこと
ができれば、何が可能になるだろうか！

21




貢献に焦点

“可能性を追求”

貢献に焦点を合わせると、成果をあげるうえで必要な基本的な能力が身につく。

1. コミュニケーション
2. チームワーク
3. 自己啓発
4. 人材育成

22



120%の法

余力を残すな。明日のためにセーブしない。今日、
すべてを人生のグラウンドに投げ打て！

(Leave everything on the field today!)

やればできるのに、何で中途半端なものを提出する
のか？ 要求された以上のことをやろう！

何で最初から120%しないのか？

23



言い訳との決別

「愛は重荷を感じず、困難を思わず、力以上の
ことに挑戦し、不可能だという言い訳はしない」

人生に言い訳はない！

24



強みを中心に！

1. 自らの強みを知る
2. 得意な仕事の仕方を知る
3. 得意な学び方を知る
4. 価値観を優先する

「彼を知り、己を知れば百戦危うからず」

25



優先順位の決定

1. 未来
2. チャンス
3. 独自性
4. 変革
5. 廃棄

26



センスを磨こう！

- * 一流に接しなければ、センスは磨かれない。
- * 独自性があるから、価値がある！
- * 最高を求めよう！
- * たくさんよいものを見よう！

27



意思決定を行う！

(意思決定の手順)

1. 問題の分類
2. 意思決定の目的を確認
3. 複数の解決策
4. 実行手段への落とし込み
5. 徹底的に実行
6. 結果を評価する

28



IGグループにおける 卓越性の追求とは…？

**“未来会計”で
業界革命を起こす！**

29



我々職業会計人の “存在意義”とは何だろうか？

ずっと考えてきたことだが、一言でいうと
“社会的インフラ”である。その使命をずっと担い続け
てきたし、これから先もそうでありたいと思う。

卓越性を追及する人材を育成し、統合の価値観で
社会的インフラとして貢献しよう！

30



IGグループの 中期ビジョン“M70-Plan”

「“M70-Plan”には、
大きな夢がある！」

その夢とは何か？

31



会計人は、“未来人”！

5年以内に業界の景色をゴロツと変える！

「会計人は、
過去を語るのではなく、
“未来を語る人”になろう！」

32



倒産は、博物館で…

すべての中小企業に
“未来会計”を提案し、
世の中から
“倒産”をなくそう！

33



“未来会計”で
経営力を高めよう！

(二つの効果)

1. 会社を絶対に潰さないための仕組み
2. 企業価値を高めることができる仕組み

34



“将軍の日”に参加しよう！

まずは、自らの“経営の意思”を確認する！

「意思あるところに道は拓ける」

IGグループの“MAS監査”は、経営者の意思を確認し、その実現のための経営プロセスをサポートするためのサービスです！

35



最後に・・・

最も大きなリスクは、
リスクのない生活である！

36



「自らが偉大と認める目的のために働くこと、
これこそが人生の真の喜びである。
世界が自分を幸せにしてくれないと文句を言い
続けるのではなく、自然の一つの力になることである。
私の人生がコミュニティ全体のものであり、命あらん
限りそれに仕えることは私の特権である。死ぬとき
になって悉く使われ果てていきたいのだ。
なぜなら、働けば働くほど、私は生きるからである。」

37



「人生は私にとって短い蠟燭などではない。この瞬間
に掲げる素晴らしい松明であり、次の代にそれを渡す
まで、できるだけ明々と燃やし続けたいのである」
(ジョージ・バーナード・ショー)

(完)

38